

# 第109回経営幹部セミナー 開催報告



2013年11月4日から11月16日まで、風光明媚な静岡県南伊豆、海を望む丘の上に建つ下田東急ホテルにて、第109回経営幹部セミナーは開催されました。

本セミナー主管の高橋大志教授によるオリエンテーション"富士フィルムホールディングス"からケースメソッド授業はスタートしました。受講者の皆様は、2日目から10グループに分かれ各チームでディスカッションを行なった後、2会場で講師陣とのクラスディスカッションに臨みます。午前・午後で期間中、計19回のクラスディスカッションと2回の講演が繰り返され、夜には翌日分の予習もあり、受講者の皆様にとってはハードな毎日だったと思います。「温泉と食事の満足度が高いので頑張ることができた」との声も聞かれました。



授業内容についてはアンケート結果から、中村洋教授による"ヤマト運輸株式会社 法人発市場"では「環境変化に対する、ビジネスモデル・組織・ITの戦略の例が参考になった」、太田康広教授の"総合電機メーカー3社比較"では「財務・会計の観点からの企業評価の着眼点が、非常に参考になった」「財務諸表を読む"面白さ"を知ることができた」等、多数の高評が寄せられました。

講演は、ビジネス・ブレイクスルー大学大学院教授／本校特別招聘教授の張秋華教授による"中国のシャドーバンク"と、KBSの山根節教授による"経営の大局を鳥瞰する"が行なわれ、どちらも専門知識を活かした興味深い話で、好評を博しました。

今回も2週間で受講者同士は厚い友好関係を築かれ、既に再会の日程を決めている方もいらっしゃいました。本セミナーで築かれたご人脈が、受講者の皆様の今後の飛躍のきっかけになることを願



って止みません。皆様、本当にありがとうございました。



## セミナー概要

開催日時	2013年11月4日（月）～11月16日（土）
会場	下田東急ホテル
日程表	<a href="#">📄 第109回経営幹部セミナー 日程表</a>

## 受講者の声

2週間という期間は、新たな"仲間"をつくり、何か自信を持って持ち帰れるものを身につけるには、必要な日数だと思いました。

食事、温泉、景色など、勉強以外の環境も、完璧でした。

私の場合は財務・会計ですが、各人の苦手分野をグループの仲間が補ってくださり、セミナーが終わるころには苦手意識が克服されていたように思います。

## 印象に残ったケース

**「12人の怒れる男」高木晴夫教授**

会議というものがどのように進んでいくのかを、改めて客観的に見ることができ、有意義でした。会議を有益なものにするためにはどうすればいいか、考えさせられました。

**「オプティカル・ディストーション会社」余田拓郎教授**

事業計画を立てる際の勉強になりました。

計数シミュレーションから意思決定を行なう具体的なイメージが掴めました。

**「キリン・サントリーの経営統合」齋藤卓爾准教授**

財務の見方から会社の評価、交渉の裏側、総合的に面白かったです。

経営統合の難しさを改めて感じることができました。

---